

2020年度 1月 かしの木通信

フリースクールかしの木

牛久市小坂町 1912-15 TEL 029-873-7452

携帯 090-4174-0603

メール [kashinoki-no-niwade@nifty.com](mailto:kashinoki-no-niwade@nifty.com)

携帯メール [aki191215@docomo.ne.jp](mailto:aki191215@docomo.ne.jp)

HP 「フリースクールかしの木」と検索



facebookページつくりました

イベント情報や写真など載せます

facebookで「フリースクールかしの木」と

検索してみてください

◇1月の予定

1日スクール 1月12日(日) 第2日曜日です

造形クラス

水	1休	8	15	22	29
木	2休	9	16	23	30
土	4休	11	18	25	

◇1月の一日スクール <持ち寄り餅をいろんな風にして食べる>

出雲の雑煮の特徴はいたってシンプルであること。出汁のきいた濃い醤油たれに、日御碕あたりの岩海苔、おろしたての鯉節を添えて、それらを餅にからめするすると胃袋に送り込む。よく噛んだりしては駄目、喉であじわう。喉で味わうといえは私の大好物出雲蕎麦も喉です。

今でも懐かしく思い出す光景、ときに夢に出てくる思い出、元旦の朝の陽だまりになんとなく近所の子らが寄ってきて、話すのは決まって餅の自慢話、

「俺、8個食べたんだよ。大阪から帰ってきた兄貴は15個食べたんだ」 貴重な山陰出雲の冬の陽だまりと、食べることへの情熱。

いまになっても描く情熱が衰えないのは、このあたりにその熱情の源泉があるからか

○日時 1月12日(日) 9時30分～15時

○場所 森のアトリエ

○費用 2500円

○持物 各自食べたいだけの餅 皿 汁椀 など

◇かしの木祭り 12月28日さいごの土曜日

たき火のまわりで お喋りしよう、食べよう、どんど焼き、お店ごっこ、遊ぼう!!

かしの木で用意するもの もち米 かしの木汁のダシ、味噌 杵臼その他必要な品一斉

各自持参するもの つきたて餅トッピング かしの木汁の具 お好みでご自由に

参加費 1家族 1000円

場所 森のアトリエ

日時 12月28日(土曜日) 11時ころから3時ころ 餅つきは昼過ぎから

### ◇午後の造形クラス

<その頃になるとなんとなくやりたくなるもの>

北風が体の中を通り抜ける時期になるとなんとなく恋しくなるものはおでん鍋 熱燗

2月の底冷えには、味噌の仕込み、冷たくて暖かで、つまみ食い塩麴のなんと美味なこと  
もうすぐ春、大地のうねり、一番草のたくましさには中南米タコス頬張り♪ルンバ!!が似合う  
梅雨の蒸し暑さ対策にはやはり流し素麺。流れ来るスイカ、トマト。トッピング大葉の香り

関東平野に山越えの木枯らしが笛を吹くころになると私は、あの大空に凧を糸全開で飛ばしたくなるのです。小野川沿いの田んぼあたりに出かけ、ついでに大鍋とコンロも、ついでにどんぶりも。凧あげに飽いたらラーメンパーティー、忘れられない想いで。

、  
年賀状つながりかな、この頃、木版画も恋しくなります。誰にせかされるでもなく、なんとなくやってみたくなり、版木をさがし、刀を用意してぼりぼり、障子に映る梢の影、遠くに鶏の鳴き声

12/5 コミック本よわむしペダル、見飽きたのかSは立ち上がり作業机に、そして言った  
「板を彫って紙に写したい」

うまい具合に板も紙も刀もそこらにあった。工務店の店先でせしめた厚さ15ミリ表面シナベニヤの端材はもってこいの版木に。酪農家からいただいた飼料袋が擦り紙に

「バレンは軽やかに、あまり力むと紙がうごくし摺も重くなるよ」

1枚は植物、2枚目は飛行機を線彫り、インクは軽やかに、心地いい作品ができた

HやS子もより小さな木切れを見つけ刀を入れる。Hは2枚、S子も2枚、迎えの母のせかしにもめげず。Sはインク青にこだわる。ドラえもんは青だからだそう。

S子の母は持参の手作り大学芋かじりながらコミックを見る。よわむしペダルにはまって夢中、笑ったり涙したり、あらもう帰らなくてはと、でも体は動こうとしない。いつになっても、夢中になれることをもっていることっていいことだなー。

こうして今年も暮れるのですね。うしく現代美術展、私は庭に展示しました。風に敏感に作ったので、会期中吹く風の強さに神経つかいました。真夜中に駆け付けたこともありました。家を失った方の苦勞がしみじみと。